

平成23年9月25日
今週のベストショット



H23. 9. 25 雁レクD 三苦フレンズ 対 三友クラブ戦

レフトオーバー2ランを放つ三友クラブ足達敬祐投手。投げてフレンズ打線を2安打に押さえ込んだ。

(写真：奈多サンデーズ 八島久徳)

青松園A

ブルーマーリンズ	00020	2	負投手：林	HR：堺
三苦ホーネッツ	60110×	17	勝投手：井手	HR：なし

一回裏ホーネッツは先頭の山崎と2番稲葉の連続セーフティバントで出塁すると3番矢野の適時打、ブルーマーリンズのエラーなど打者11人の猛攻で6点を先制する。三回裏ホーネッツはまたも打者16人、10安打で11点を追加する。ブルーマーリンズは1番堺の左中間への本塁打などで2点を返したものの、ホーネッツが20安打、大量17点で大勝した。(記録：奈多フェニックス 今林文彦)



本塁打で一矢を報いたブルーマーリンズ堺太一選手。



この日4盗塁ホーネッツの韋駄天・山崎健太郎選手。

青松園B

塩浜ジャガーズ	0002000	2	負投手：内田	HR	なし
奈多クラブ	000003×	3	勝投手：今林瑠	HR	なし

初回ジャガーズは4番立石高伸選手がヒットで出ると相手エラーで三塁まで進むが後続が倒れ無得点。対する奈多クラブも初回、先頭吉田貴史選手の二塁打でチャンスを作るも返すことができず無得点。この後、奈多クラブ今林瑠投手は三回には三者連続三振に仕留め、ジャガーズ内田耕司投手も好フィールディングを見せるなどお互い譲らぬ投手戦の様相であった。ところが四回表ジャガーズは、奈多クラブのエラー、パスボールなどのまずい守備で2点を先制。このままジャガーズは内田投手の落ち着いた投球で逃げ切れるかと思われた。しかし六回裏、奈多クラブ先頭の高瀬大輔選手が粘って四球を選び、送りバンドで二塁まで進むと、4番今林卓也選手の三塁打でまず1点、5番今林健選手の連続三塁打で同点に追いつき、6番砂場知行選手のレフト前ヒットでとうとう逆転。最終回、奈多クラブはピンチをしのいで勝利をおさめ、ジャガーズは悔しい敗戦となった。

(記事：ソルトベスターズ 田中裕次郎)



初回、奈多クラブ1番吉田貴史選手がホームを突くもタッチアウトで先制を逃す。



好フィールディングを見せるジャガーズ内田耕司投手。



盗塁を仕掛ける奈多クラブ安部慶彦選手。



三塁打を放ち、先制のホームイン・ジャガーズ内田選手！



同点のタイムリー三塁打を放ち、サードへ滑り込む奈多クラブ今林健選手。



ジャガーズ3番立石高伸選手の力強いスイング。

雁レクD

三苦フレンズ 00000 0 負投手：井上 HR：なし
三友クラブ 14211× 10 勝投手：足達 HR：足達、清水

一回表フレンズは1番田中盛幸選手が振り逃げで出塁するも後続続かず無得点。その裏三友クラブは1番大坪和則選手がセーフティバントで出塁すると、3番清水幸一選手がサード強襲安打、4番松尾徳摩選手のセカンドライナーをフレンズ吉村二塁手が弾き1点。続く二回裏、9番足達敬祐投手が左越え2ラン、1番大坪選手が2打席連続セーフティバントで出塁すると、3番清水選手、4番松尾選手、5番谷崎興一郎選手の連続安打でこの回4点。三回裏、一死二・三塁から1番大坪選手のスクイズにエラーが絡み、続く代打森野勇祐選手が右線三塁打で計3点。四回裏、8番福井和夫選手のタイムリー、五回裏3番清水選手が中越えソロを放ち、コールド勝ちを収めた。フレンズは三回、四回表に、二・三塁と攻めるも後続を打ち取られ無得点に終わった。単調な攻めでは奪三振1位の足達投手を攻めるのは難しい。(記事：奈多サンデーズ 八島久徳)



一回表、振り逃げで出塁するフレンズ1番田中盛幸選手。



二回裏、左越え2ランを放った三友クラブ足達敬祐投手。



本塁カバーに奔走するフレンズ井上投手。



代打で適時三塁打を放った三友クラブ森野勇祐選手。



痛烈な遊直を放つ三友クラブ福山末人選手(66歳)。



HRでコールドを決めた三友クラブ3番清水幸一選手。

奈多グラウンド

レッドサンデーズ	3 0 1 0 0 0 0	4	勝投手：土師	HR：なし
新町ウインズ	0 0 0 1 0 0 0	1	負投手：早田	HR：なし

秋晴れの清々しい早朝の中、レッド先行でプレイボール。先頭打者の川原選正選手の打球は、簡単なサードゴロかと思われたが、前進守備の三塁手のライン際を抜く幸運なレフト前ヒットで出塁すると、続く2番の折居広則選手もしぶとくレフト前に打球を落とし、無死一・二塁。この場面で先制点がほしいレッドは、送りバントも考えられたが、監督は3番土田寛太選手の打撃に託した結果、見事に右中間を抜く三塁打で期待に応えた。その後も4番神田宗一選手のレフト前ヒット、五番宮口和己選手のピッチャー強襲の内野安打の五連打により、3点を先制する。一方ウインズも、毎回ランナーを出すもあと一本が出ず後続が絶たれていたが、四回裏、先頭打者の5番今林孝智選手が風邪気味の悪コンディションを吹き飛ばすレフトオーバーの二塁打で出塁すると、続く6番泉圭祐選手も一塁手の失策により出塁し、無死一・三塁で絶好のチャンスを迎え、7番城戸和裕選手の打球は浅いライトフライであったが、サードランナーの今林選手が果敢なタッチアップで得点するも、1点を返すのが精一杯であった。レッドの土師猛投手は、5安打2四球ながらも要所を押さえた安定感のあるピッチングが光った。
(記事：新町パイレーツ 石橋登)



早朝の清々しい秋晴れの中、整列・挨拶。



攻守に活躍したレッド3番土田寛太選手。



終始安定したピッチングを見せたレッド土師猛投手。



高熱をおして一人気を吐くウインズ今林孝智選手。

第18週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

すっかり秋の気配がする早朝ですが、清々しい秋晴れの下、4試合が行われました。

奈多グラウンドのレッド対ウインズは初回到5連打で効果的に先制したレッドが、ウインズに4-1で快勝しています。青松園Aのブルーマーリンズ対ホーネッツは、ホーネッツが初回から7本の単打で6点を奪うなど20安打と爆発して2-17で爆勝。1番山崎健太郎選手、2番稲葉紘一選手が3安打猛打賞、3番矢野義幸選手が4打数4安打でした。山崎選手は、打率、盗塁、安打数、出塁率がトップです。打席に立った時の挑戦的な目がいいですね。青松園Bのジャガーズ対奈多クラブは、先週の悔しい敗戦を糧に、息詰まる投手戦を2-3の逆転で奈多クラブが辛勝しました。4番今林卓也、5番今林健、6番砂場知行選手の三連打が利きました。ジャガーズも二死一・二塁と攻め立てたのですが、あと一歩及ばず。雁レクD球場のフレンズ対三友クラブは、足達投手の投打に渡る活躍もあり、0-10のスコアで三友クラブが完勝しました。

来週は、全勝首位の奈多フェニックスと1敗の3位三苦三球会の対戦が注目です。

どちらも先発投手がいいだけに、ひとつのエラー、四死球が明暗を分けるのではないのでしょうか？

その他の試合も順位争いが激しいだけに目が離せません。

夜が涼しくなって、昼夜の寒暖の差が大きくなって来ています。日曜朝7時に向けて体調管理をしっかりとしましょう。ウインズ今林孝智選手、お大事に